9-6 CSVファイルに書き込むには？

❶「お客様情報CSV読込」プロシージャを実行します。

※「9-6お客様情報1.csv」ファイルから15件のお客様情報が読み込まれ、セル範囲【A4：C18】に入力されます。

❷ セル範囲【A19：C19】に、新しいお客様情報「50016　近藤　佐紀　120,000」を入力します。

❸ 次のようにプロシージャを入力します。

※ VBEを起動し、《標準モジュール》→モジュール「Module1」を開いておきましょう。

■「お客様情報CSV書込」プロシージャ

```
Sub お客様情報CSV書込()
    Dim MyFSO As New FileSystemObject
    Dim MyTXT As TextStream
    Dim filename As String
    Dim customer(2) As Variant
    filename = ThisWorkbook.Path & "¥9-6お客様情報2.csv"
    Set MyTXT = MyFSO.OpenTextFile(filename, ForWriting, True)
    Range("A3").Select
    Do Until ActiveCell.Value = ""
        With ActiveCell
            customer(0) = .Value
            customer(1) = .Offset(0, 1).Value
            customer(2) = .Offset(0, 2).Value
            .Offset(1, 0).Select
        End With
        MyTXT.WriteLine Text:=Join(customer, ",")
    Loop
    MyTXT.Close
    Set MyFSO = Nothing
    Set MyTXT = Nothing
End Sub
```


©2024 Fujitsu Learning Media Limited

■プロシージャの意味

```
1.「お客様情報CSV書込」プロシージャ開始
2.      FileSystemObject型のオブジェクト変数「MyFSO」を使用することを宣言してインスタンスを生成
3.      TextStream型のオブジェクト変数「MyTXT」を使用することを宣言
4.      文字列型の変数「filename」を使用することを宣言
5.      バリアント型の配列変数「customer」を3要素使用することを宣言
6.      変数「filename」に実行中のプロシージャが記述されたブックが保存されているフォルダーの絶
        対パスと「¥9-6お客様情報2.csv」を連結して代入
7.      変数「filename」のテキストファイルを書き込み(上書き)モードで開いて(ファイルが存在しない
        場合は新規作成)、オブジェクト変数「MyTXT」に代入
8.      セル【A4】を選択
9.      アクティブセルが空文字(「""」)になるまで処理を繰り返す
10.         アクティブセルの
11.             値を配列変数「customer(0)」に代入
12.             1列右のセルの値を配列変数「customer(1)」に代入
13.             2列右のセルの値を配列変数「customer(2)」に代入
14.             1行下のセルを選択
15.         Withステートメント終了
16.         配列変数「customer」の各要素を区切り文字「,」で結合した文字列と改行を書き込む
17.     9行目に戻る
18.     テキストファイルを閉じる
19.     オブジェクト変数「MyFSO」の初期化
20.     オブジェクト変数「MyTXT」の初期化
21. プロシージャ終了
```

※コンパイルを実行し、上書き保存しておきましょう。
※ プロシージャの動作を確認します。

©2024 Fujitsu Learning Media Limited